



普通高等教育“十一五”国家级规划教材
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

总主编 谭晶华

日本近代文学史 (第三版)

谭晶华 编著



上海外语教育出版社

外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS

www.sflep.com



普通高等教育“十一五”国家级规划教材
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

总主编 谭晶华

日本近代文学史 (第三版)

谭晶华 编著

图书在版编目(CIP)数据

日本近代文学史 / 谭晶华编著. —3版.
—上海: 上海外语教育出版社, 2010
(新世纪高等学校日语专业本科生系列教材)

ISBN 978-7-5446-1815-1

I. ①日… II. ①谭… III. ①日语—阅读教学—高等学校—
教材 ②文学史—日本—近代 IV. ①H369.4: 1

中国版本图书馆CIP数据核字(2010)第065590号

出版发行: **上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@sflap.com.cn

网 址: <http://www.sflap.com.cn> <http://www.sflap.com>

责任编辑: 应 允

印 刷: 上海信老印刷厂

开 本: 889×1240 1/32 印张 10.125 字数 267千字

版 次: 2010年11月第3版 2010年11月第1次印刷

印 数: 3 100 册

书 号: ISBN 978-7-5446-1815-1 / I · 0147

定 价: 19.00 元

本版图书如有印装质量问题, 可向本社调换

新世纪高等学校日语专业本科生系列教材编委会

总主编：

谭晶华

编委：(以姓氏笔画为序)

王 勇	浙江工商大学
王健宜	南开大学
叶 琳	南京大学
皮细庚	上海外国语大学
许慈惠	上海外国语大学
纪太平	厦门大学
杨拙人	广东外语外贸大学
严安生	北京外国语大学
吴 侃	同济大学
吴大纲	上海外国语大学
陈 岩	大连外国语学院
张 威	清华大学
陆留弟	华东师范大学
庞志春	复旦大学
胡振平	解放军外国语学院
修 刚	天津外国语学院
洪栖川	东北师范大学
高 宁	华东师范大学
高文汉	山东大学
宿久高	吉林大学
谭晶华	上海外国语大学

总序

21 世纪是一个国际化的高科技时代,也是一个由工业社会进一步向信息社会转化的时代。科学技术的高速发展、新兴交叉学科的涌现、人文文化与科学技术间的相互渗透和融合、社会的信息化以及知识、信息传播技术的日新月异加强了世界各国文化的交流、碰撞与合作。要想在激烈的世界竞争中立于不败之地,就要占领人才培养的制高点,培养出世界一流的高素质、高水平人才。

由于社会对外语人才的需求已呈多元化趋势,以往那种单一外语专业的基础技能型人才受到挑战。今后我们仍然需要培养《源氏物语》的专门研究家,但是高校外语专业的教学必须从过去的“经院式”人才培养模式向宽口径、应用性、复合型人才培养模式转化。社会要的不光是懂外语的毕业生,还需要思维敏捷、心理健康、知识广博、综合能力强的精通外语的专门人才。

我国的外语教学界已充分认识到,对国家建设发展急需的外语专业人才加大培养力度,提高其能力和素质是一项迫在眉睫的任务。随着我国日语专业教学点设置的不断增加和招生规模的逐年扩大,日语专业本科生的教学改革、学科建设及教材出版亦取得很大的成绩,各地先后出版了一批在全国有影响的优秀教材。正因为社会对日语人才的培养提出了更高的标准,同时对日语学科的建设也提出了新的要求,因此,日语本科生教材的编写和出版也应该顺应潮流,开拓创新。

我国外语教材和图书出版的基地、领头羊之一的上海外语教育



出版社(外教社)以高度的责任感和高瞻远瞩的视野,在充分调研的基础上,抓住机遇,于2003年8月邀请了全国主要外语院校和教育部重点综合大学日语专业的近20位专家,在上海召开了“全国高等学校日语专业本科生系列教材编写委员会会议”。代表们完全认同编写“新世纪高等学校日语专业本科生系列教材”的必要性、可行性及紧迫性,并对编写立意、教材构建、编写审校程序提出了许多积极、中肯的建议和要求。之后,外教社又多次召开全国及上海地区专家学者会议,分头撰写编写大纲,确定教材类别、项目,讨论审核样稿。经过两年多的努力,终于迎来了第一批书稿的付梓。

本套教材共分语言知识、语言技能、语言学与文学、语言学与文化、语言学与翻译(中日对译)、人文科学、经济贸易、测试与教学法等若干板块,可以说几乎涵盖了当前我国日语专业所开设的全部课程。编写内容根据因材施教的原则,深入浅出,反映各个学科领域的最新研究成果;编写体例采用国家最新有关标准,力求科学、严谨;编写思想贯彻了在帮助学生打下扎实的语言基本功的基础上,培养学生分析和解决问题能力的原则,全面提高学生的人文、科学素养,养成健康向上的人生观,成为合格的外语专门人才。

本套教材编写委员会云集了我国日语界学者专家,其中不少是高等学校外语专业指导委员会的委员。每一种教材均由编写委员会的专家们仔细审阅后确定,有的是从数种候选教材中遴选,总体上代表了中国日语教材学发展的方向和水平。我们相信,外教社这套“新世纪高等学校日语专业本科生系列教材”的编写和出版,一定会促进和提高我国日语专业本科中教学质量的稳步提高,其前瞻性、先进性和创新性也将为日语教材的编写拓展更为广阔的视野。

谭晶华

上海外国语大学常务副校长

编者的话

高等学校日语专业的学生在学习了一定数量的近代文学作品之后,为了加深理解,需要进行系统的归纳和整理。因此,以日语语言文学专业高年级学生为对象开设用日语讲授的日本近代文学史课程是很有必要的。

本书是供大学日语专业高年级学生使用的日本近代文学史教材,它结合时代背景和各个时期的问题点,比较系统、简明地介绍了明治维新至二十世纪六十年代日本小说、评论、戏剧、诗歌的各主要文学流派、同人杂志、作家及其代表作品。考虑到便于学生形象地了解代表作家的创作风格,一些垂名于文学史的经典作品在本教材中均有节选的引用文。一九四五年前发表的引用文均用旧假名,使学生通过学习有所了解。书中编有必要的注释和对近代文学史的扼要归纳。全书最末还附有重要的思考题及答案。为便于教学和自学,新版本又加入了“教学参考”一章,用[]符号标注。

本教材主要依据日本明治书院出版的《日本文学史》(新版)、《日本文学史的指导与实践》、《近代日本文学史——近代文学教育之研究》(改订版)、旺文社出版的《日本文学史》、中央图书社出版的《注解日本文学史》(七版新订)及一些相关的文学工具书、参考书编写而成。成书过程中曾得到上海外国语大学的周平教授和日籍专家的指点和协助,又承蒙复旦大学苏德昌教授、上海外国语大学孙宗明副教授费心审校,在此一并谨致谢意。

本教材于一九九二年初版发行,二〇〇二年修订版发行,二〇一〇年新版本发行。

对于本教材的错误及不当之处,竭诚欢迎批评指正。

谭晶华

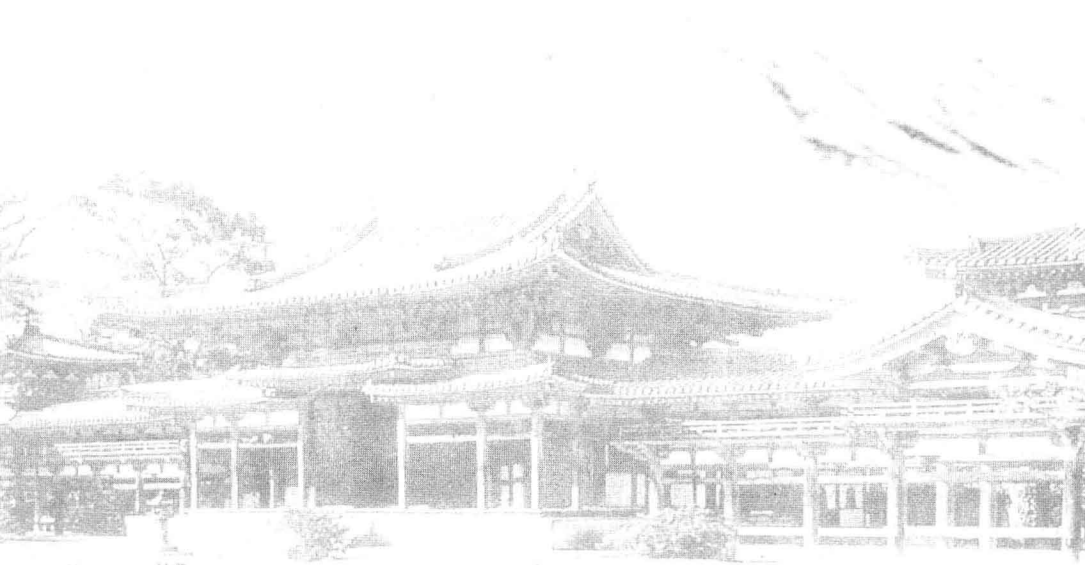
于上海外国语大学

二〇一〇年九月

目次

一	概観	1
二	前期	9
	ア 啓蒙期	11
	イ 写実主義	22
	ウ 擬古典主義	30
	エ 浪漫主義	38
	オ 自然主義	57
	カ 反自然主義	72
三	後期	109
	ア プロレタリア文学	111
	イ 近代主義	120
	ウ 文化統制下の文学	135
	エ 戦後の文学	154
四	近代文学概観表	179
五	まとめ	183
六	教学参考	197
七	設問	305

一、 概 観



近代文学^[1]の特色

明治維新は、封建制から抜け出して、日本に資本主義生産機構への脱皮を促し、世界の気運に遅れないとする新しい日本の歩みを発足させることになり、日本が近代を歩み始める切りかえの時点であった。徳川幕府の鎖国政策^[2]による長い間の閉鎖的な島国生活は、従来の古い封建的な生産関係を維持し、また日本固有の社会的、文化的諸条件を温存し高次化するには役だったにせよ、世界的な視野からすれば進歩への歩みはおおうべくもない立ち遅れをとったことになっていた。だから、そのような立ち遅れから脱出していわゆる文明開化の新風に身をさらすことは、ただに量的な進歩というにとどまらず、質的な変革を意味するものであった。明治維新の変革を推進したものは、政權の座にあった徳川幕府の内部崩壊と、新しい世代から盛り上がってきた若い革新のエネルギーであり、そのような主体的な要因を助けたものは、幕末の騒然たる海外からの刺激であった。明治維新の切りかえによって、日本は急速に海外の新文化の近代的なものに着目し、それを摂取して、一種の追いつき運動を開始したのである。

文学においてもまったく同様である。近世文学にいたるまでにつかわれて来た文学の伝統的遺産は、鎖国にぬくもった爛熟の果ての頹廢的傾向を帯びて、新しい時代の

創造的価値を生み出すエネルギーを欠いていた。そして、最も弱い点は、体系的な理論を持たないことにあった。したがって、近代に脱皮した需要にこたえるためには、西欧の近代に学び、その要素を取り入れたものでなければならなかったのである。もちろん、従来の文学遺産と全く絶縁したところから出発したものではなく、伝統文学の土壌の上に花さいたのであるが、今まで見て来た他のいかなる時代よりも外国文学の強い影響下に発展したことは大きな差異である。

近代文学は、近代社会を背景とする。近代社会は市民社会である。市民社会の特色は、自由主義的な民主主義精神によってつらぬかれていることである。この社会を動かす経済機構は、資本主義である。近代市民社会に生きる近代人は、封建的な身分の拘束から解放され、あくまでも自由平等であり、ヒューマンズムを基本とした近代的自我に覚醒している。近代社会は、二十世紀に入ってその面貌を改めた。自然科学が異常に発達したために、社会の構造や機構はますます複雑となり、したがってその中に生きる近代人の思惟、感情はいよいよ複雑・多彩となった。原子力が開発され、人工衛星が打ちあげられ、月ロケットが回るような宇宙世紀の時代にまでいたり、文学というものが遊戯的な閑文学でなく、そこに真剣な新しい人間の生き方の探求が盛り込まれるにいたった。

前期の文学の展望

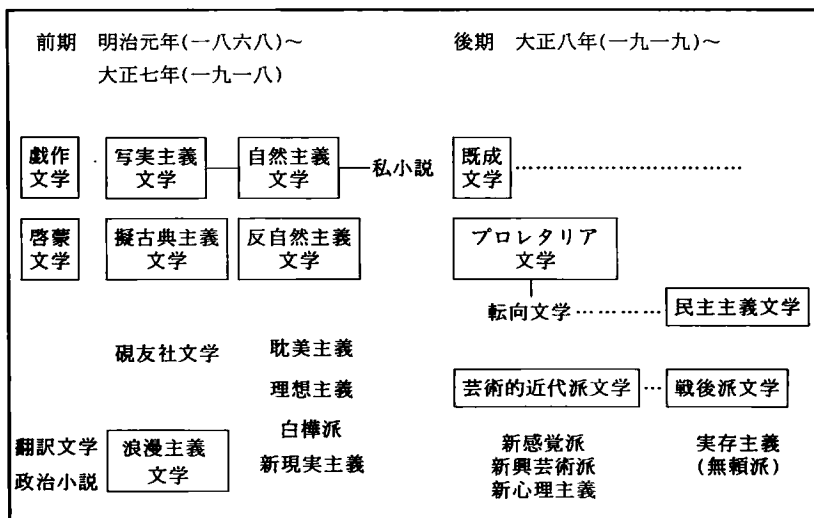
外国文学の輸入は、啓蒙思想家や先覚者によってなされ、翻訳文学が迎えられた。写実主義・浪漫主義・自然主義も、外国文学の影響のもとに勢力を得たが、外国文学における流行よりはおくれていた。やや同時代的な影響を受けとめるようになったのは、第一次世界大戦後のことである。自然主義によって、近代文学は素材の点でもまた手法の点でも大きな転換をとげた。

後期の文学の展望

大戦後の社会情勢の変化を背景として、社会主義が勢力を得た。階級意識を掲げた文学が台頭し、プロレタリア文学が流行した。いっぽう、そのような動向に背を向けて個人主義的なわくの中で文学を楽しみ、従来の文学の形式を革新しようとする芸術的近代派の文学があらわれた。この二派の文学は、いずれも新たに誕生したもので、大正末期から昭和初期にかけて対立しながらはなやかな活動を示した。したがって、昭和の文学はこの二派の新文学と、既成文学とが三派鼎立の状態で進行した。

プロレタリア文学が戦時下の弾圧によって崩潰し、芸術的近代派も文学精神の衰弱のために消滅したが、終戦後はふたたび三派鼎立の形をとった。民主主義文学、新しい文学様式を追求する戦後派文学、および既成文学の延長と見なされる文学の三派がそれである。

近代文学の展開図



年 号	事 項
明治元 一八六八	明治改元
七一	廃藩置県
七二	学制発布・太陽暦採用
七四	明六社創立
明治10 七七	西南の役 翻訳小説流行
八一	国会開設の大詔発す 政治小説流行
八五	硯友社結成 我楽多文庫創刊
明治20 八七	国民之友創刊 言文一致運動
八九	帝国憲法発布 しがらみ草紙創刊
九〇	帝国議会開会
九一	早稲田文学創刊
九三	文学界創刊 短歌・俳句の革新気運起こる
九四	中日甲午戦争(日清戦争)
明治30 九八	ホトトギス創刊
九九	条約改正
一九〇〇	明星創刊
〇三	平民新聞創刊
〇四	日露戦争
〇五	自然主義文学起こる
明治40 〇八	アララギ創刊
〇九	スバル創刊 耽美派・享楽派盛ん
一〇	大逆事件 白樺・三田文学創刊 新浪漫主義起こる
大正元 一二	
一四	第一次世界大戦起こる
一六	新思潮(第四次)創刊 新現実主義起こる
一七	ロシア革命
一八	各地で米騒動起こる
一九	改造創刊
二〇	最初のメーデー
二一	種蒔く人創刊
二三	関東大震災 文芸戦線・文芸時代創刊

年 号	事 項
大正13	二四 築地小劇場開く
	二五 治安維持法実施 普通選挙法公布 日本プロレタリア芸術連盟成立
昭和元	二六 大衆文芸流行
	二八 全日本無産者芸術連盟(ナップ)成立
	三一 九・一八事変
	三二 五・一五事件
	三三 日本、国際連盟を脱退
昭和10	三五 芥川、直木賞設定
	三六 二・二六事件
	三七 蘆溝橋事変
	三九 第二次世界大戦起こる
	四一 太平洋戦争起こる
昭和20	四五 太平洋戦争終わる 抗日戦争勝利 新日本文学会成立
	四六 日本国憲法発布
	四九 中華人民共和国成立 風俗小説流行
	五〇 朝鮮戦争勃発
	五一 民間放送開始
	五三 テレビ放送開始
昭和30	五六 日本、国連へ加盟
	六〇 新安保条約調印
	六四 東京オリンピック開く
昭和40	六八 川端康成ノーベル文学賞受賞
	六九 人類、月に着陸
平成6	九四 大江健三郎ノーベル文学賞受賞

